

一般国道55号 ひ わ さ 日和佐道路

(事後評価)

平成29年2月15日



国土交通省四国地方整備局

# 1. 事業の目的と概要(1)

## ■ 事業目的

- ・ 四国8の字ネットワークの一部を形成し、四国東南地域の広域交流の促進及び地域活性化を支援する道路
- ・ 現道国道55号の異常気象時通行規制区間を回避し、異常気象時においても安全で安心して通行可能な幹線道路を確保
- ・ 安定した救急搬送を支援

<位置図>



【写真①】 美波町田井(由岐IC付近)



【写真②】 美波町北河内(終点付近)



<平面図>



# 1. 事業の目的と概要(2)

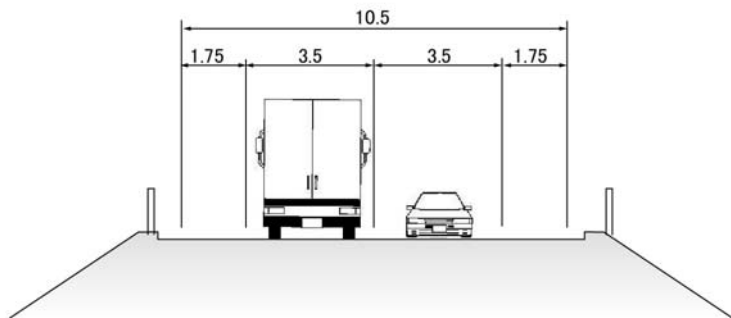
## ■ 計画概要

事業名	一般国道55号 <small>ひわさ</small> 日和佐道路	
起 終 点	自: 徳島県阿南市福井町小野 <small>あなん ふくいちょう このう</small> 至: 徳島県海部郡美波町北河内 <small>かいふ みなみちょう きたがわち</small>	
延長、幅員	延長 9.3km、幅員 10.5m	
構造規格 設計速度	第1種第3級(自動車専用道路)、2車線 設計速度 80km/h	
事業の経緯	事業化	平成 7年度
	用地着手	平成11年度
	工事着手	平成11年度
	開通年	平成19年度[部分開通] <small>かいふ みなみちょう たい ゆき みなみちょう きたがわち</small> (海部郡美波町田井(由岐IC)～美波町北河内) 平成23年度[全線開通] <small>あなん ふくいちょう このう かいふ みなみちょう たい ゆき</small> (阿南市福井町小野～海部郡美波町田井(由岐IC))

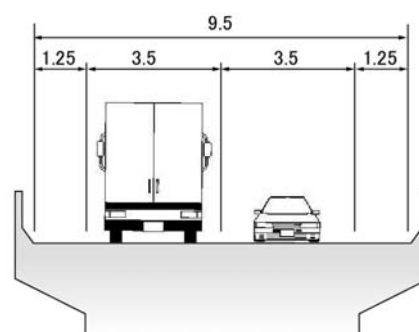
### <標準断面図>

(単位：m)

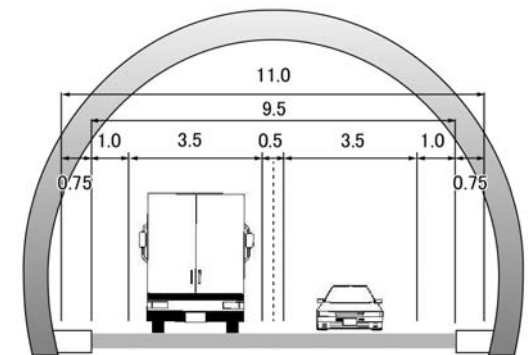
【一般部】



【橋梁部】



【トンネル部】



## 2. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

### ■ 前回評価と開通時の比較

	前回評価 (H22再評価時)	開通後	変化及びその原因
道路構造等	第1種第3級 延長 9.3km、2車線	第1種第3級 延長 9.3km、2車線	変更なし
総事業費	494億円	494億円	変更なし
交通量	7,300台/日 ～7,900台/日	8,300台/日	H22再評価時の計画交通量は、H17センサス ベース事業化ネットでの推計値
事業期間	平成7年度～平成23年度	平成7年度～平成23年度	変更なし

※ 開通後交通量は常時観測データ 平成28年10月平日平均値(24時間)

# 3. 日和佐道路の利用状況

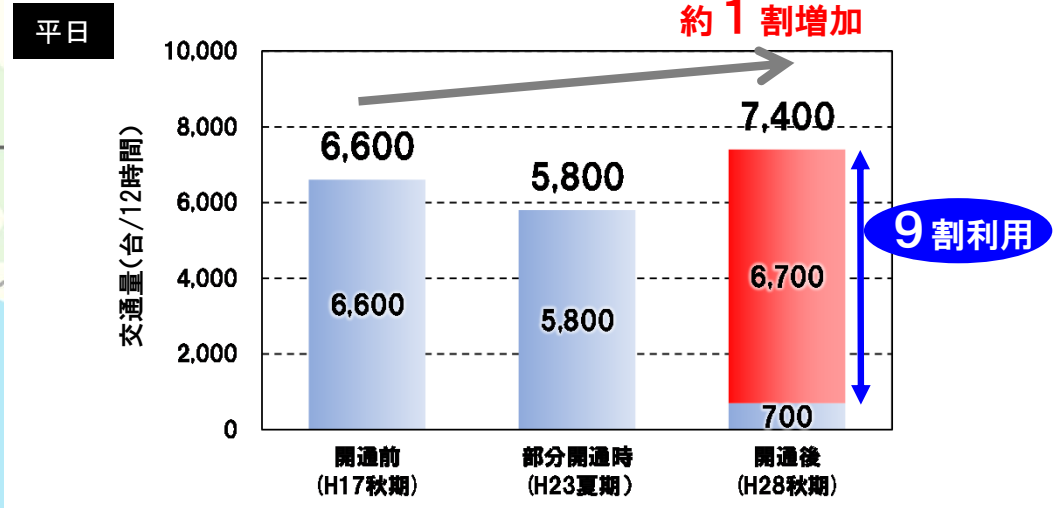
- ・日和佐道路の開通により、交通の約8～9割が日和佐道路を利用。
- ・現道と日和佐道路をあわせた断面交通量は約3割増加しており通行規制区間のない信頼性の高い幹線道路として利用が定着。

■ 日和佐道路位置図

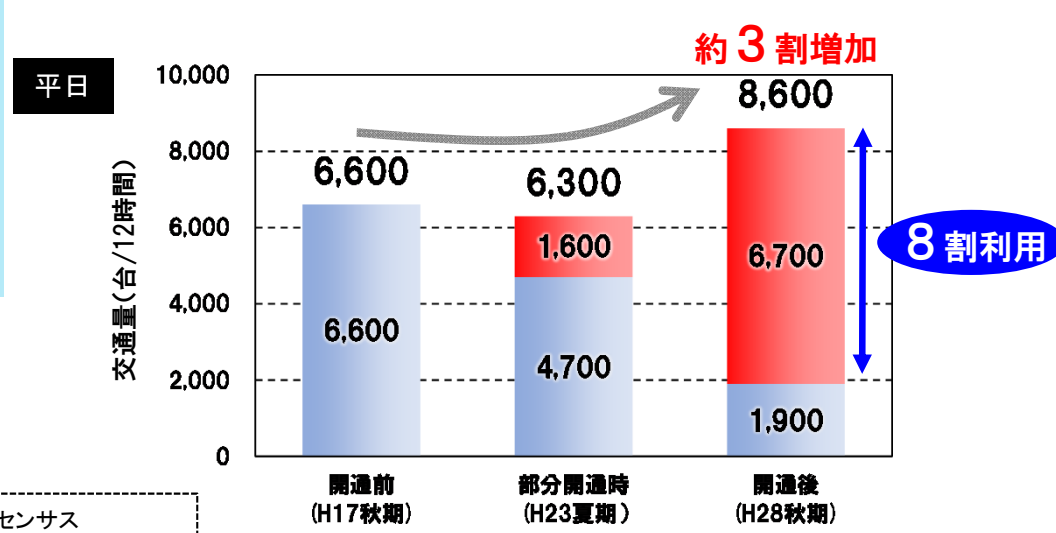


- 一般国道
- 事後評価箇所
- 関連事業(事業中)
- ][ 異常気象時通行規制区間

断面① 阿南市福井町小野～由岐IC



断面② 由岐IC～美波町北河内



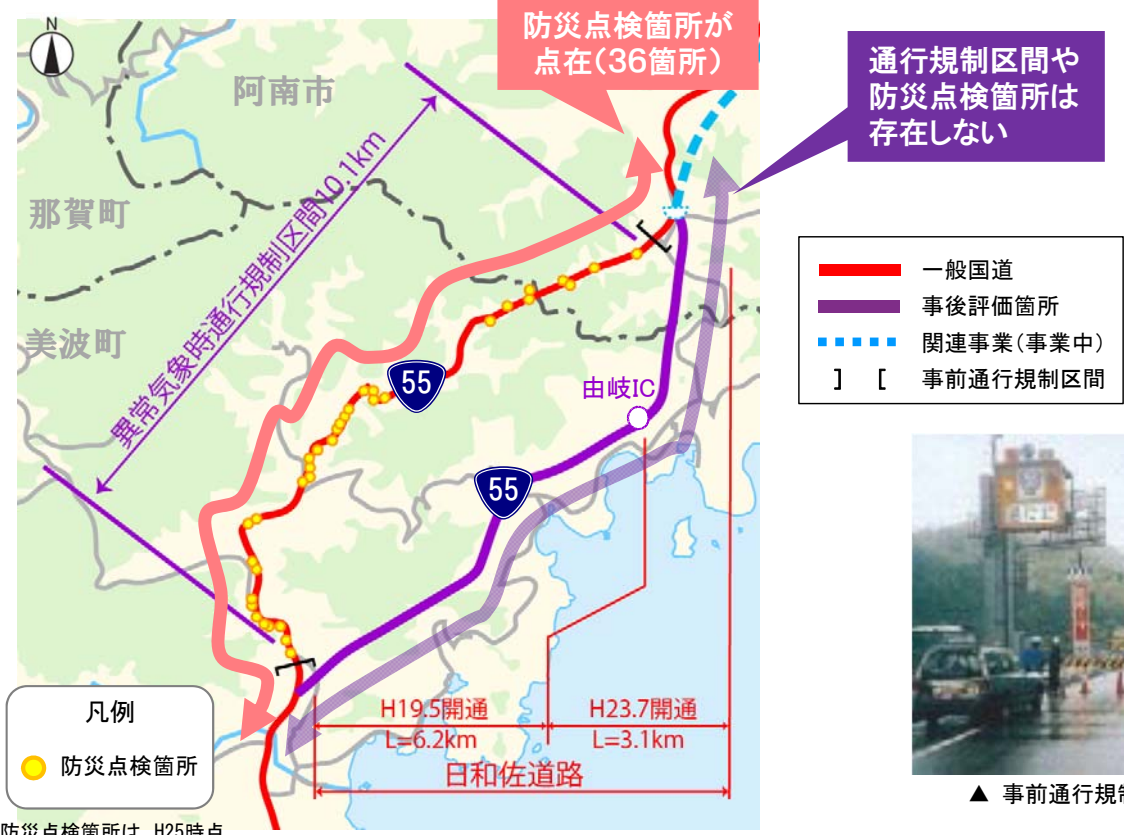
※) 開通前: H17センサス  
 部分開通時: H23.6.30(木)調査  
 開通後: H28.10.19(水)調査

■ 日和佐道路 ■ 国道55号

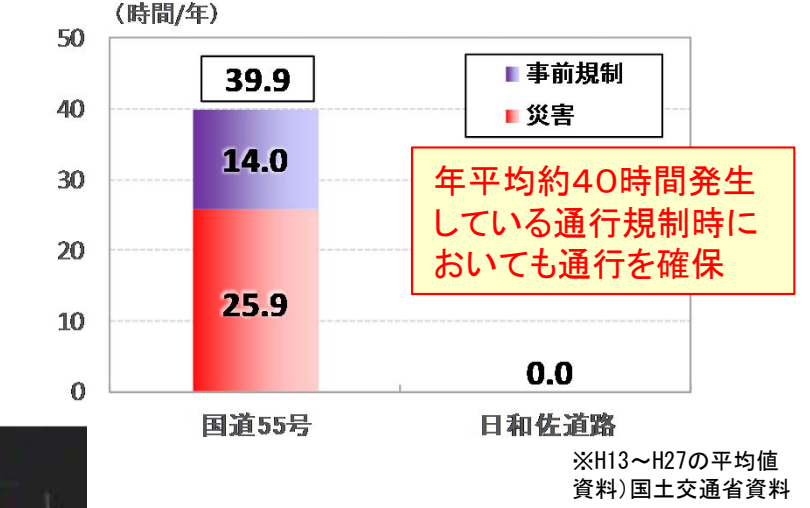
# 4. 事業効果の発現状況(1) 信頼性の高いネットワークの確保

- ・国道55号現道には異常気象時の事前通行規制区間が存在しており、また多くの防災点検箇所が存在。
- ・日和佐道路の開通により、**幹線道路としての信頼性及び利用者の安心感が大幅に向上。**

## ▼事前通行規制区間



## ▼国道55号の通行規制時間実績

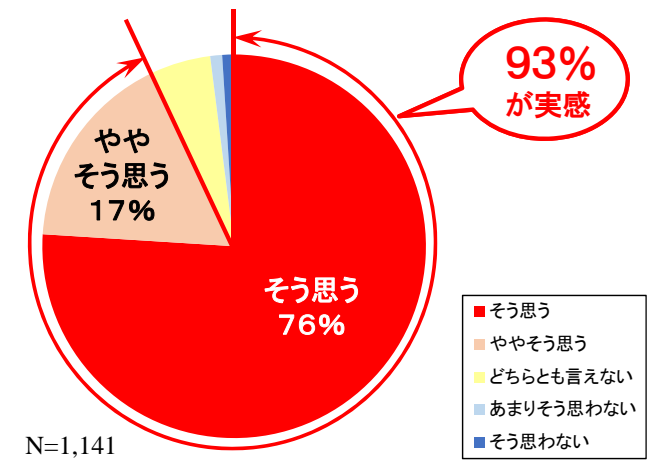


▲ 事前通行規制状況 (H22. 4)



▲ 災害状況 (H22. 4)

## ▼「安全性が向上した」と感じている地域住民の割合



資料) 美波町・牟岐町・海陽町住民アンケート調査結果 (H24. 1)

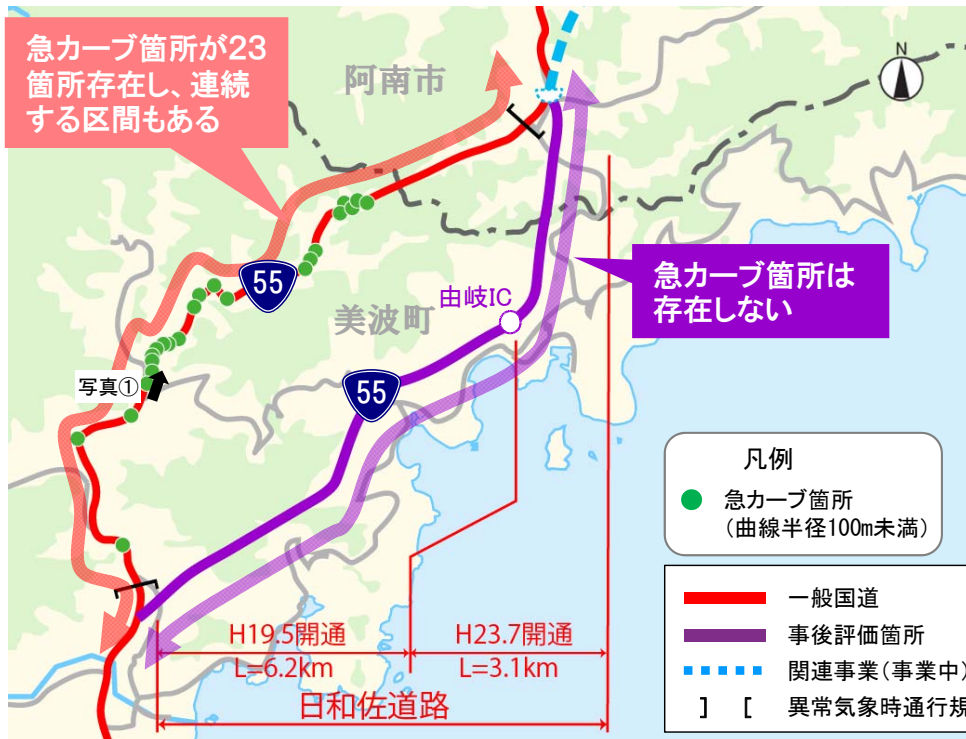
## ▼地域の声

○電子機器製造業者

・日和佐道路の開通により、現道で通行止めが発生しても、通行が確保され**納品の遅れがなくなり、信頼性が向上した。**(H28.9 ヒアリング結果)

# 4. 事業効果の発現状況(2) 急カーブの解消による走行性、安全性の向上

- ・日和佐道路の開通により、急カーブが連続する国道55号現道の交通事故発生件数が大幅に減少。
- ・地域住民の日常生活や物流活動において、安全で安心して走行できる道路を確保。

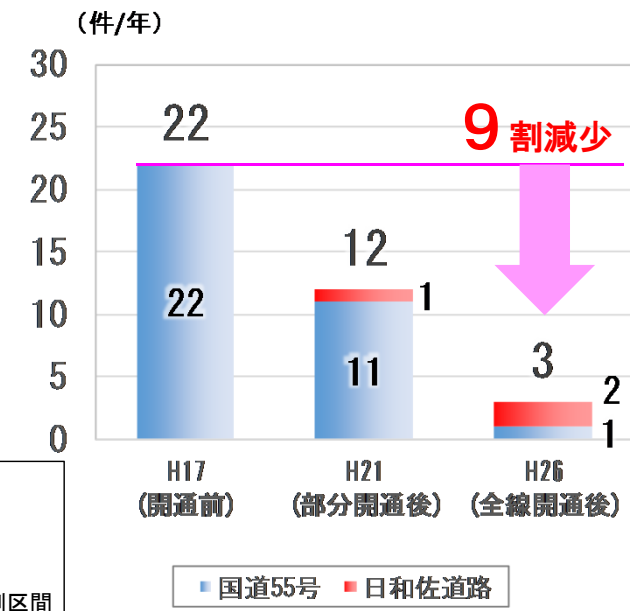


曲線半径100m:設計速度50km/hの場合の最小曲線半径の既定値

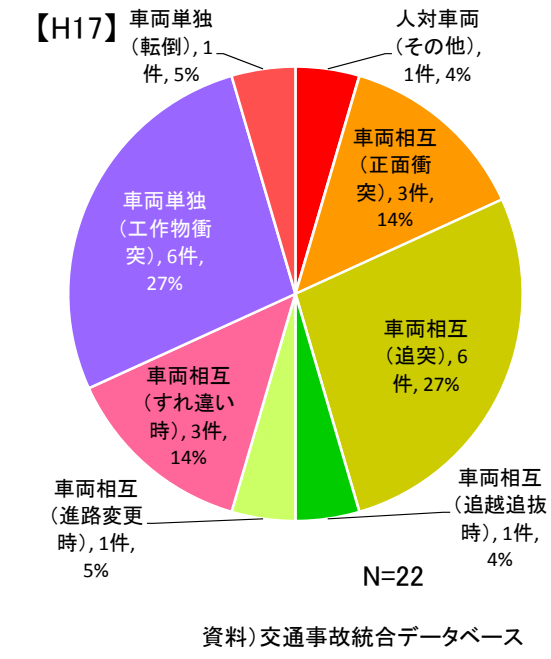


▲ 急カーブ区間の状況

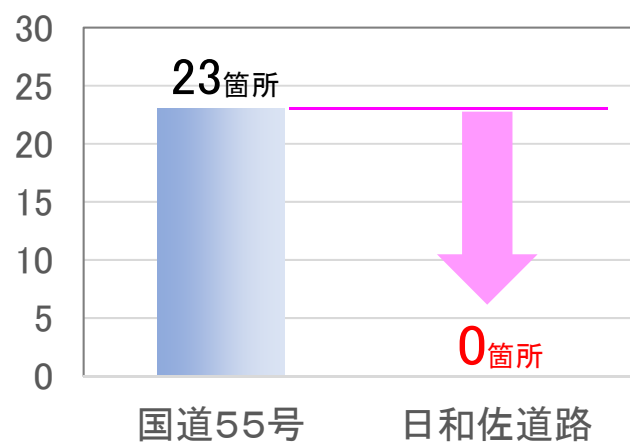
## ▼日和佐道路及び国道55号現道部の死傷交通事故件数の推移



## ▼国道55号現道部の事故類型



## ▼急カーブ箇所の変化



## ▼地域の声

○観光協会

・線形の悪い区間を通行しなくてもよくなったので、実際の短縮時間以上に近くなったという思いを持っている。

(H27.8 ヒアリング結果)

# 4. 事業効果の発現状況(3) 安定した救急搬送を支援

- ・海部郡から年間約200人が、小松島市などの3次救急医療機関に救急車で搬送されており、速達性・走行性の高い日和佐道路を利用することで、患者や救命士の負担が大幅に減少。
- ・通行規制時においても、3次救急医療機関への搬送が可能に。

●平成26年8月の台風12号や台風11号による大雨により、国道55号の異常気象時通行規制区間が約83時間全面通行止め



●日和佐道路が常時通行可能で迂回路として機能し、5回の救急搬送が円滑に実施

### ■通行規制時間と救急搬送回数の内訳

	一般国道德島県阿南市福井町日の地 ～海部郡美波町北河内における事前通行規制			日和佐 道路 救急搬送 回数
	規制開始時刻	規制解除時刻	通行規制時間	
台風 12号	H26.8.2(土) 12:55	H26.8.4(月) 19:05	54時間10分	3回
台風 11号	H26.8.9(土) 10:10	H26.8.10(日) 15:05	28時間55分	2回
合計			83時間5分	5回

▼現道国道55号通行規制時の搬送状況(日和佐道路)



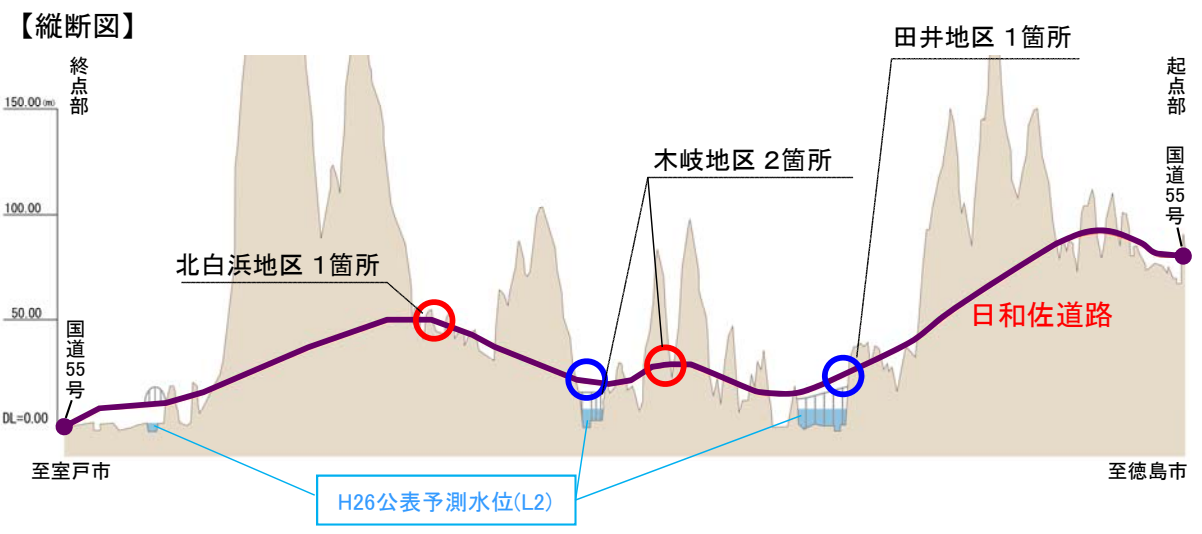
日和佐道路 由岐川起点417.67

(H26.8.9 13時頃 日和佐道路を走行する救急車両)



# 4. 事業効果の発現状況(4) 地域防災機能の向上を支援

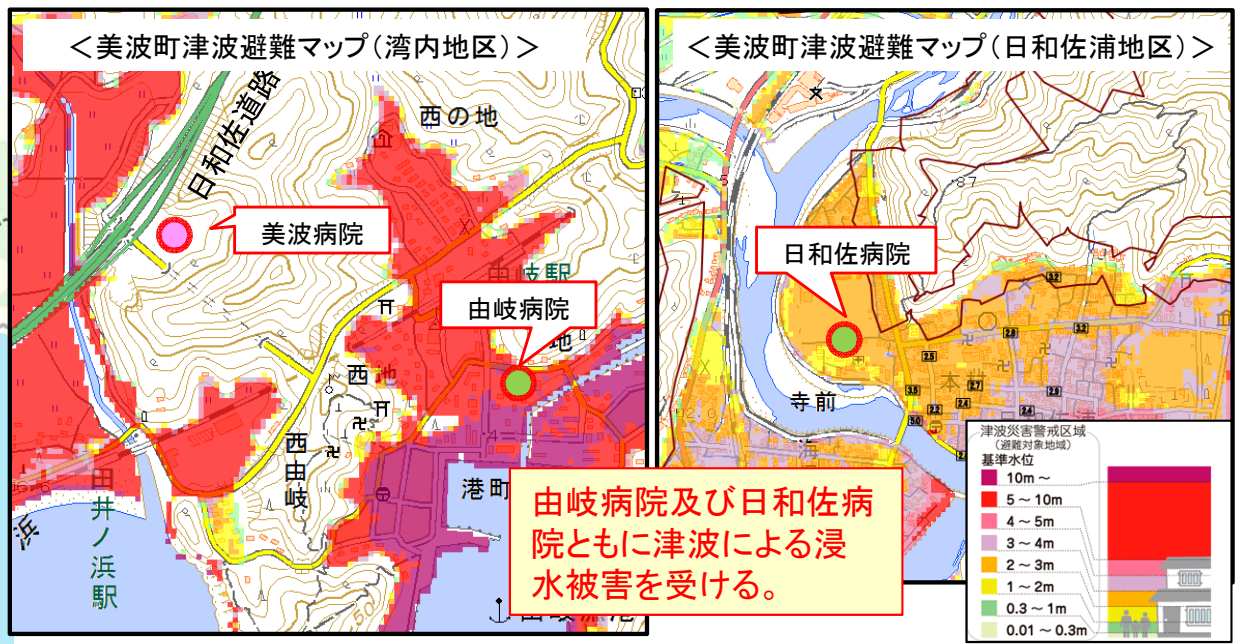
- ・日和佐道路の整備にあわせ緊急輸送進入路を整備し、災害や事故発生時の出入り口を確保。
- ・津波等の発生時等に地域の方々が、緊急避難できるように避難路を整備。



# 【参考】事業による波及効果(1) 地域医療・災害拠点の機能向上に貢献

- ・日和佐病院と由岐病院を統合し、津波の被害を受けない日和佐道路の由岐IC付近の高台に美波病院がH28.3に開院。
- ・日和佐道路を利用した救急搬送や通院が行われており、**地域医療に貢献**するとともに、**災害時の拠点としての機能向上に貢献**。

## ■美波病院への統合



資料：徳島県津波災害警戒区域 (H26.3.11公表)に基づき作成

## ▼地域の声

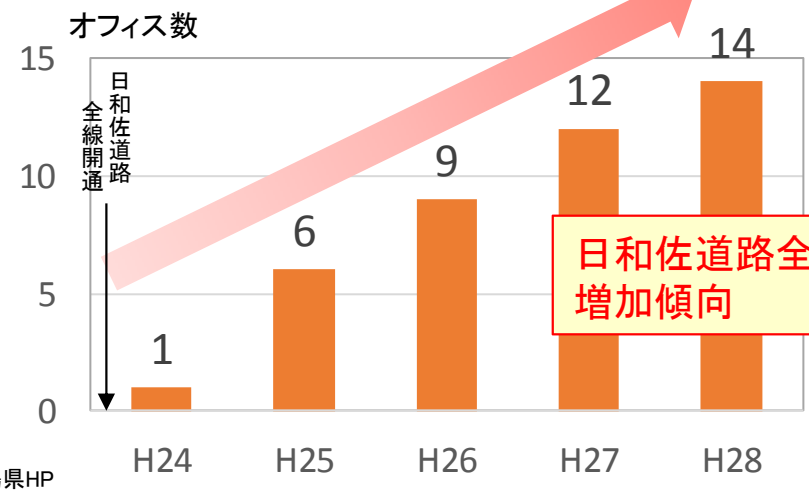
- 美波病院
  - ・高台にあり **日和佐道路のICに近いことから立地箇所が決まった**。
  - ・美波病院から徳島赤十字病院等への **転院搬送にも利用**されており、**時間短縮**になっている。
  - ・日和佐診療所(旧日和佐病院)～美波病院間で連絡バスは **日和佐道路を經由**しており、通院や入院患者の家族のアクセスに利用されている。

(H28.9 ヒアリング結果)

# 【参考】事業による波及効果(2) 移住促進のための取組を支援

- ・美波町では日和佐道路の開通やブロードバンド環境を活用した、サテライトオフィスの誘致活動に取り組んでいる。
- ・日和佐道路が全線開通した翌年に第1号サテライトオフィスが進出(H28. 9月時点で14社)、平成25年以降県外からの転入者数が転出者数を上回り人口が社会増。

## ■美波町におけるサテライトオフィス数の推移



日和佐道路全線開通後増加傾向

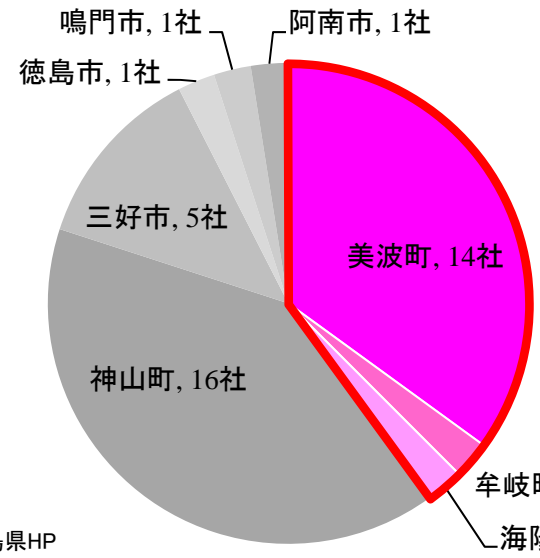
資料) 徳島県HP

### 『ウミガメオフィスプロジェクトin美波』

- 美波町では平成20年度から町内の情報化を進め、町内全域で光ファイバーによる高速通信インターネット網を整備
- 企業の進出するにあたり助成制度を整備

資料) 美波町HP

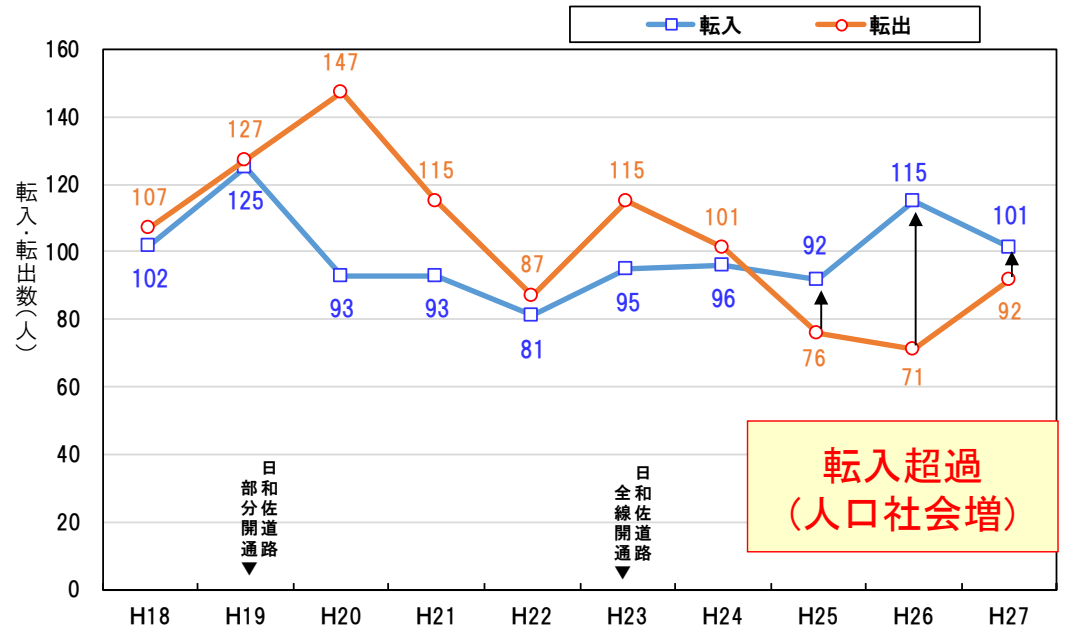
## ■徳島県内のサテライトオフィスの内訳



4割が日和佐道路より県南地域  
美波町は、県内第2位の進出数

資料) 徳島県HP

## ■美波町推計人口及び県外移動状況(転入・転出)



転入超過(人口社会増)

資料) 徳島県人口移動調査年報(徳島県)

## 5. 今後の事業評価の必要性等

### ■ 今後の事後評価の必要性

日和佐道路の開通により、現道の交通難所の解消による安全・安心の確保、信頼性の高い緊急輸送道路の確保、広域連携の強化や交流の促進による地域の活性化など、事業目的に見合った効果が確認できていることから、今後の事後評価の必要性はない。

### ■ 改善措置の必要性

日和佐道路は、想定された効果が発揮されており、当面の改善措置の必要性はない。

### ■ 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法について見直しの必要性

現時点では見直しの必要性は見られない。